

情報サービス業のコミュニケーション情報誌

misa

Miyagi Information Service Industry Association

No.40

2016 September
[MISA会報 第40号]

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10仙台北辰ビル5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL/http://www.misa.or.jp ■企画・編集/情報発信部会 ■印刷/ハリウ コミュニケーションズ株式会社



20th Anniversary

設立20周年記念号

MISA 第5回通常総会 並びに設立20周年記念パーティー開催報告

去る6月9日（木）第19回理事会終了後、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会の第5回通常総会が「ホテルメトロポリタン仙台」において開催されました。

総会は早坂会長の開会挨拶、一般社団法人情報サービス産業協会副会長の島田 俊夫氏よりの来賓挨拶のあと、早坂会長が議長に選任され、正会員数159社、出席会員数119社（内委任状提出34社）の1/2以上の出席により議事に入り、いずれも提案通り承認されました。

第1号議案 平成27年度事業実績について

第2号議案 同上 収支決算及び会計監査報告について

第3号議案 平成28年度事業計画について

第4号議案 同上 収支予算について

通常総会に引き続き、東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太氏による、「ICTが脳に与える影響」と題する講演会が開催されました。（講演会の一部別掲記事参照）

その後の230名に及ぶ出席者のもとでMISA設立20周年記念パーティーが開催され、宮城県の山田義輝副知事、東北経済産業局地域経済部の岩瀬恵一部長、仙台市経済局の石川浩史局長からのご来賓挨拶、永年会員感謝状贈呈、歴代会長及びご来賓の方々による鏡開き、早坂会長による乾杯の発声に引続いて懇談に入り、午後6半過ぎ、奥瀬副会長の御開きの辞を以ってすべての行事を無事終了しました。



MISA 第5回通常総会・設立20周年記念 会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 早坂 栄二



第5回総会開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。平素は当協会の活動に格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

また、本日は大変ご多用のところ御来賓の皆様をはじめ多くの会員の皆様にご出席いただき誠に有難うございます。

本日の総会は「平成27年度の事業実施結果及び収支決算報告」並びに「平成28年度事業計画及び収支計画」、これら議題についてご説明ご報告しご承認いただくのが主目的であります。何卒宜しく願い申し上げます。

さて、昨年の暮れから今年の3月にかけて、宮城県ICT有識者懇話会が継続的に開催されました。座長は東北大学副学長の青木先生で私も協会団体の代表という形で参加させていただきました。そのレポートが出たのですが、一言で申し上げますと、富県みやぎとか、地方創生とか、そういった地域活性化の戦略があるわけですが、それを実践していくにはとにかくICTの徹底的な利活用が不可欠であり、特に「攻めのICT利活用」を強調し、具体例を挙げ、4つに類型化した説得力あるレポートになっております。

このICTの利活用が絶対不可欠であるということは、ICTを活用し地域の発展にいささかなりとも貢献してきたと自負する我々にとっては、非常に共感できるものであると思います。そしてこれからもデジタル社会の進展といましようか、IoT、ビックデータの活用、AIの画期的な進展、クラウドによるICTサービスの進化等の社会の中にありまして、ICTの役割はますます重要になってくるものと納得したところであります。

そういう中で我々のミッションということになりますと、地域ビジネスを活性化して地域経済を牽引していく基幹産業になることだと思っております。といいましてもデジタル社会の進展は、我々業界に別な課題を突き付けている面もございまして、例えばAIが発展すると仕事の領域が減るとも言われています。我々の業務で言えば、コンピュータの保守業務であるとか、SE,CE,SI、といった領域も狭くなったり、変質していくだろうと予想されています。

そう考えますと、こういった大きな潮流の変化の中で我々はどう対処すべきなのか、先ほど申し上げた新しい技術を自分のものにして、課題を克服して行く必要がありますが、やはり個々の企業だけでは難しい面がござい

ます。個々の企業の枠を超え、結束して取り組んでいくことが重要であり、MISAとして中長期的な視点で活動していきたいと思っております。

そういった認識のもと事業計画を策定いたしました。ぜひとも会員の皆様には、積極的に委員会に参加いただきまして、より全員参加型で課題に取り組むことにより、協会に参加するメリットを最大限共有していただけるようお願いするところであります。

ところで、MISAは会員の皆様、行政機関、関係機関の皆様のご支援・ご協力をいただきながら今年で20周年を迎えることが出来ました。

当協会は、情報関連技術の利用促進・水準向上並びに人材の育成、普及啓蒙を図ることにより、地域社会の高度情報化の促進と社会・経済の発展に寄与する目的で、平成8年にスタートいたしました。その後先輩方の努力の積み重ねにより、平成13年には業界を代表する団体として社団法人として認可をいただき、平成23年に公益法人制度改革に伴い一般社団法人へ移行し現在に至っております。今、ICTは産業・教育・文化・行政などあらゆる分野で利活用され、世の中のすべてに浸透し確固たる基盤技術となっております。そういう流れの中でMISAは幅広い活動を通し現在会員200を超える全国有数の団体として成長してまいりました。これもひとえに産学官各位の皆様のご指導、ご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。次第です。

今後も引き続き、全会員参加のもとで活動をより活発化し、首都圏からも評価されつつある宮城のITパワーをアピールすることにより、地域の活性化に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

本日は、この本総会終了後、20周年記念講演会、記念パーティーがございます。講演会につきましては、東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太先生に、「ICTが脳に与える影響」というテーマでお話をいただく事にしております。我々が関わっているサービスが利用者にとってどう影響を与えるか、大変興味のあるお話ではないかと期待しているところでございます。川島先生には大変お忙しい中、誠にありがとうございます。どうかよろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、ご参集の皆様のますますのご繁栄をご祈念申し上げ開会にあたっての挨拶といたします。

MISA 第5回通常総会 来賓挨拶

一般社団法人情報サービス産業協会 副会長 島田 俊夫 様



MISAの皆様、設立20周年、誠におめでとうございます。200社を超える会員を傘下に全国有数の団体として歩み続けてこられたことに対し敬意を表したいと思っております。

また、私どもJISAの地域連携事業にも事業開始初年度から、MISAの皆様にはご支援・ご協力をいただき、また一昨年は働き方改革事業にも積極的に参加いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。引き続きJISAの活動についてご支援・ご協力をいただければと思います。

皆様もご存じのとおり、1964年でしたか、IBM360が出て汎用コンピュータという主流の時代が続き、以来50年経てみたら今やSMACと経済産業省が言っているようですが、要するにソーシャルモバイルからアナリス、クラウドというのが主流になったということは、ここで私が申し上げるまでもありません。AIの進化に対してまさにも月ごとに変わるという感じで、自動運転についてもほぼ手に届く段階に来ているのだろーと思っております。この間、トヨタ自動車の専務の話聞く機会があったのですが、トヨタでは未来社会が自動運転とカーシェアリングになった時に、車を所有しない時代のトヨタ自動車はどう生きるかということを見事に議論している様でした。AIの進化はおそらく止まることなく毎月変わりますのでウォッチが重要です。毎月変わるのも一つあるのですが、保険証です。皆様の中にもお医者様に行かれる方がいると思いますが、月替わりで保険証を出したときは、AIは一ヶ月分進化しているということですので、「えっそうになっているの?」と言わないように。保険証を出すときはAIの進化もチェックされるということを知っているのですが、実践されると乗り遅れないかなと思います。

またブロックチェーンもそうです。恐らく金融機関は今の日銀のマイナス金利のインパクトよりも、ブロックチェーンをベースとしたフィンテックの荒波の方が脅威だろーと思っております。ご承知の通りタクシー業界はウーバーでほぼ駆逐される。子供に聞けば世界で一番大きなタクシー会社はウーバーというほどです。日本は規制がきいてまだウーバーに席卷されていませんが、大きな流

れとしてはそちら側に向かっているということですので、迂闊に居ると事業を根こそぎやられてしまうような変化も一方では世界で起きているのも事実です。

先ほど早坂会長がIoTに触れておられましたが、IoTとインダストリー4.0という言葉を見ない日はないと思っております。少なくともIT産業にいる人が見るメディアにおいて、この言葉を見ない日は無いだろーと思っておりますが、JISAの方でも実際に見聞してこようということ、ドイツにミッションを立てて18社参加いただき、1週間ドイツを縦断してきました。今日はそれを説明している時間は無いので、一言だけ私の感想を申し上げますと、ドイツの取組、それから業界横断的な真剣度、そして同じデジタルプラットフォームをワン・ネットワークの上に乗せて、ドイツ国家全体の製造業の生産性を破壊的にでも上げて国際競争力を立てるといふ意気込みは素晴らしいものだと感じました。

ところが1社1社は利害が絡むので、そんな号令一で動くのかなというのが私の疑問点でしたが、少なくとも私が1週間廻った個人の感想としては、実際の執行レベルとか執行水準についてはそれほどでもないなと思っておりました。したがって極めて乱暴に総括すると、計画・構想・実践はたいしたものである。しかし今日現在までの執行・推進水準はたいしたものではないというのが私のドイツインダストリー4.0の感想です。

いずれにしても、未来の社会を変えるのがITだということに疑いを抱いている方は今日お集まりの方の中にはおられないと思っております。したがって、我々はITという道具を使ってサービスを提供しているわけですので、社会の進展に合わせて企業も変えていく必要があると思っております。我々が競っているITで提供しているサービスは、劇的に変わっていくかもしれないし、その一翼を担っているということはこのせっかくの20周年の記念に皆様方と改めて再自覚したいと思っております。

不確実な時代になったのは間違いございません。未来も予測できません。未来を予測した方が負けるので、改めて今日お集まりの皆様方と我々も未来の一部を創っていくのだということに心を刻み私の挨拶といたします。本日は誠にありがとうございました。

MISA 設立20周年記念パーティー 来賓挨拶

宮城県 副知事 山田 義輝 様



本日は、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会設立20周年記念パーティーが盛大に開催されますことにつきまして、心よりお慶び申し上げます。また、早坂会長をはじめとする役員の皆様、そして会員企業の皆様におかれましては、永年にわたり地域社会の高度情報化の担い手として、宮城県の地域経済そして社会の発展に貢献いただいていることに対しまして深く敬意を表しますとともに、県政の推進につきましても日頃格別のご理解、ご協力を賜っておりますことをこの場をお借りし御礼申し上げます。

さて、近年の情報通信技術でございますが、私が申し上げるまでもなく、我が国の経済再生そして地域社会の課題解決に貢献する重要なツールになっております。地方創生に向けましてその利活用を促進することはもとより、最近注目されていますIoTやAIなどの新たな技術の導入により、産業の高度化を推進することが一層求められているのではないかと思います。

本県におきましても、情報通信技術につきましては、県民が安全で快適に暮らせる環境を作り上げていく、あるいは活力ある豊かな地域づくりに欠かせない技術であると位置づけておりまして、県内の情報サービス産業の皆様には、その技術を提供する担い手として大いに活躍

していただきたいと期待しているところでございます。一方で、県内の情報サービス産業が置かれている環境ですが、長期的に技術者が不足するという状況に加え、技術者の方々が首都圏の方に流出する空洞化などの問題もあるということで、厳しい状況にあると認識してございます。貴協会におかれましては、こういう中、昨年新たに仙台開発センターを開設され、首都圏からの業務獲得による技術者の流出抑止対策に取り組んでおられるということで、今後のさらなる展開に大いに期待をさせていただいております。

宮城県といたしましても昨年度から、貴協会のアイデアとノウハウのご提供をいただきながら、技術者の確保に向けた取り組みをさせていただいているところでございます。今後とも貴協会及び会員企業の皆様とは震災復興に限らず、富県宮城の実現や地方創生に向けた様々な取組の重要なパートナーとしてなお一層の連携を図らせていただきたいと思っておりますので、引き続き皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会の今後ますますのご発展そして本日ご参会の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。記念パーティー開会にあたってのお祝いの言葉とさせていただきます。



MISA 設立20周年記念パーティー 来賓挨拶

東北経済産業局地域経済部長 岩瀬 恵一 様



本日は、MISA 設立20周年総会無事終了ということで、誠にお慶び申し上げます。これまで地域の人材育成などを中心に活動されてこられたと聞いておりますが、今年度はさらにビジネスチャンスの創出に向けた取り組みを推進するというので、ますます今後に期待しているところでございます。

政府全体としては、ローカルアベノミクスの浸透ということでやっておりまして、特にここ1、2年、都市部の大企業に対して、せっかく原油安とか円安によって収益が上がったわけですから、上がった収益をうまく賃金に反映させ、消費を活性化させてくれるようお願いしているところでございます。東北地域においてそれが当てはまるかどうか不透明なところもございますが、東北のIT産業も活性化しつつあると伺っておりますので、企業収益に応じて、うまく賃上げなどでご配慮、ご配慮いただければありがたいと思っております。それから、最近のIT政策関連のトピックスとしますと、やはりなんといってもIoTです。年末閣議決定されました政府全体の予算案、経産省の予算案でもIoTというものは1丁目1番地のような扱いを受けておりまして、ものづくりの情報化によって付加価値を高めていくということでございます。実際具体的な動きとしましては、昨年10月に経産省と総務省が中心となりましてIoT推進コンソーシアムを立ち上げ、さらに実際のプロジェクトを推進するための組織として、IoT推進ラボを立ち上げました。ここでは具体的なモデル事業を推進したり、企業間の連携を

強化したり、規制改革とかルールに関する検討を行っていくような様々な取組を行っていくことのようにあります。今現在、約1,300弱の企業が会員になっていて聞いておりますが、基本的には登録は無料、誰でも入れるということでございますので、IoTに関する流れを知っていただくためには登録していただいて仕事に活かしていただければと思いますご紹介申し上げます。

それから、IoT、ITの推進と表裏一体となりますが、セキュリティ対策の強化ということでありまして、これもセキュリティ人材が不足している調査結果の現状から、政府全体としてもセキュリティ人材強化ということに取り組んでおります。その具体的な方策としては、セキュリティスペシャリスト試験の登録制とか更新性を導入したり、あるいはユーザ企業においてもセキュリティマネジメント試験を新たに新設して、セキュリティに関する知見を有する人材を育成しようという様な取組を進めてきております。

今年度は3.11震災から5年になりまして、いまだに被災地においては土地のかさ上げとか遅々として進まない面もございまして、いずれにしましてもITは復興を含めているんな基盤技術となりますので、ご支援いただければと思っております。

それでは、MISAのご発展と、それから東北楽天イーグルスの優勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



MISA 設立20周年記念パーティー 来賓挨拶

仙台市経済局 局長 石川 浩史 様



このたびは、宮城県情報サービス産業協会設立20周年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。

私は、この4月1日に経済局長を拝命いたしました石川でございます。MISAにおかれましては、ICTの利活用による地域の活性化・発展に多大なる貢献をされておりますことにつきましても、深く感謝を申し上げる次第でございます。

現在では、会員数の方も正会員、賛助会員、特別会員を含め200を超える団体に発展されておりまして、その活動は9つの委員会組織のもと、様々な分野で活躍されていると伺っているところでございます。

一口に20年と申しましても、この間のITの進展・発展は目覚ましいものがありまして、最近ではIoTというように、あらゆるものがネットにつながる時代になってまいりました。このような中、ICT利活用は地域で大半を占める中小企業の皆様にとっても避けては通れない課題でございまして、逆に言えばビジネス拡大のチャンスを迎えているのではないのかなと考えているところでございます。私といたしましてもこのような中小企業の振興支援という面でも、MISA会員のご協力を得ながら企業の情報化を含め、地域ビジネスの発展に取り組んでまいりたいと思っております。

さて、最近の仙台市の現況を申し上げますと、東日本大震災から5年という復興期間を終了いたしまして、今

年の4月から新たな復興ステージに入っているところでございます。

その中で昨年から今年にかけては、うみの杜水族館といった新しいアミューズメント施設のオープン、地下鉄東西線の開業、そしてこの5月にはG7財務大臣・中央銀行総裁会議が仙台で開催される等、いろんな面で新しい目標に取り組みながら地域の発展に取り組んでいるところでございます。最近ではマイナンバーの導入が現在進行形ですが非常に難産な状況にあり、この面においてもMISA会員皆様には多大なるご協力をいただきたくと考えてございますし、今週末にはドローンレースがゼビオアリーナで開催されますがそういった新しいITを活用した取り組みにも力を入れてまいりたいと思っております。また、本市の産業立地の最近状況を見ますと、首都圏のIT企業が人材を求めて仙台に事業所を開設する事例が増えてきているとも聞いております。このような状況から地域でのIT技術者の確保・育成に向けた競争もますます激しくなってくるものと考えておりまして、仙台市としても皆様と連携しながらこのような課題にも取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりますが、MISAの益々のご発展そしてご参加の皆様のご発展・ご健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます

「スマート社会」に向けたIT戦略のベストパートナー

お客様の立場で考え、新しい満足を生み出す。

私たちは、**NID東北**です。

株式会社 **NID東北**
宮城県仙台市宮城野区榴岡5丁目12番55号 NAVIS 3階
TEL 022-298-3777 (代表)
<http://www.t-nid.co.jp/>

MISA 設立20周年
こころよりお祝い申し上げます

NAVIS (ナビス)
株式会社仙台ソフトウェアセンター

〒983-0852
宮城県仙台市宮城野区榴岡5丁目12-55
TEL: 022-298-3700
FAX: 022-298-3701
<http://www.navis.co.jp>
NAVISは産業や地域社会の成長を前向き創造型人材育成を目的とした
国、自治体、民間企業出資の複合センターです。

NAVIS 産業や地域社会の成長をナビゲートする企画プロデュース集団

MISA設立20周年記念講演（一部抜粋）

ICTが脳に与える影響

講師：東北大学加齢医学研究所所長 **川島 隆太氏**



～脳に ICT 技術が絡むとどうなるか～

まず同じ人が同じ相手と顔を見て話をしている時の前頭前野、背外側前頭前野の働きですが、右の脳も左の脳もきちんと脳血流が上がって働いていることがわかります。一方同じペアなのですが部屋を離して電話で話すとまったく脳反応が違います。左の言語操作の脳は少し働きますが、あとは働かない。働かないどころか抑制傾向が出ていることがわかりました。これが私たちが実は一番怖いと思っているところです。携帯電話で人とつながるかという根源的な問をこのデータが表しています。少なくとも face to face のコミュニケーションをしている時と等価には人とはつながれないというのが脳科学の結論です。

では次のステップはどうするかというと、face to face のコミュニケーションと等価な脳の反応を引っ張り出すようなことを技術開発すれば何か新しいブレークスルーが出てくるのではないかとこのように考えます。

次にテレビ電話、テレビ会議をしている時の脳活動ですが、全般に高めに出ています。生データで見ると違いがはっきり分かります。まずコミュニケーション脳ですがテレビ会議で話をしていても全く働かない。一方、顔を見ながら話をするとうちんと活動が上がっているのがわかります。背外側前頭前野は右も左もちゃんと働きますが、テレビ電話で会議をしているとパルスのどこかのイベントで働くことはあっても、全体に働くということはない、すなわち現状のテレビ電話、テレビ会議のシステムでは同じコミュニケーションをしていないということがわかります。

ただ、さほど驚きはないのではないのでしょうか、通信速度の問題等あって、今のテレビ会議システムというのは、リアルなコミュニケーションとは随分違うということです。今後はより速い通信速度を稼ぐ中で、テレビ画像の画素子をもっと細かくしていくことによって、人間の網膜がリアルな画像をリアルに見ているものと区別できないようにすることによってリフレッシュレートを上げていき、脳の中の情報処理の速さよりもっと短い時間で情報を視覚的に与えていけば、もしかすると脳がリアルなコミュニケーションと

勘違いするのではないかとこのことを夢見ます。つまり、きちんとリアルワールドで face to face のコミュニケーションと等価なコミュニケーション技術が安価に提供できるようになれば、非常に大きなブレークスルーになるのではと私たちは考えます。

もう少し身近なところで、テレビを見ていると脳がどうなるか。これは受動的に情報を得ているだけです。結構深刻な事態に陥っていることがわかってきました。様々な番組を MRI の中で見せたのですが、頭の後ろ側の物を見る脳が強く動きます。それから側頭野といって音を聞く場所が動きます。番組の質や如何によりません。ニュースでもお笑いでも音楽番組でも基本的に一緒です。じっくり見ていると何が起こるかということと前頭前野を中心に脳の様々な場所に抑制がかかりだします。つまり、テレビを視聴するという事は、脳にとって脳をリラックスさせるということが起こっているということがわかります。これはテレビ番組を創るという観点からすると、ある意味で合目的な気がします。要は余暇というのは普段使っていた心身をリラックスさせるためにあるわけですから、余暇としてのテレビというのは脳にリラクゼーションを与えるということで非常に合目的であると私は思います。

ところが、人は過ぎたるは及ばざるがごとしで、結構楽しいものには長時間入り浸る傾向があります。そう言うことから、長時間のテレビ視聴は鬱状態、認知機能を下げるリスクファクターがあるとか、子供でいうと、注意機能や言語能力が低下する等の論文も出ています。

しかし、なぜ抑制がかかって抑制が続くとなぜ悪さをしているかということの本気で科学で調べようとすると動物実験をしなきゃいけない。ところが動物たちは喜んでテレビを見てくれないわけです。そういう意味で動物実験は出来ないわけで、これから先の学問が深まっていくのかもしれませんが、エビデンスレベルでいうといるんなストーリーが見えてきています。実際に疫学データでは脳に悪さをしているということがわかっていて、脳に抑制がかかっているという脳科学データも出ています。

私ども加齢医学研究所は仙台市教育委員会と学術協定を結んで、仙台市に住んでいる子供たちに加齢医学研

究所に来ていただいて、脳の測定をしたり、心理学者が心の測定をしたりしています。3年間の成長の結果を見たところ、3年間の間にテレビの見る時間が長ければ長いほど言語性の知能が低くなっていったという事実が出ています。実際にMRIで大脳皮質の厚みを測ったのですが、3年間成長を追いかけてテレビを見る時間の長い子たちは、画像計測でわかるくらいの脳の発達が悪くなっていったというデータが出てきてしまいました。同じような効果というのはゲームにもあります。様々なゲームをMRIの中でやらせると、主に働くのはやっぱり後ろ側で前頭前野はゲームの操作に慣れたとたんに強い抑制がかかり脳のリラクゼーションだったわけです。このリラクゼーションが子供たちにどういう影響を与えているかという、数学で見ると面白いことに全くしないグループよりも1時間未満ぐらいした子たちの方が成績がいい。でもそこから先はやったらやった分、成績が落ちていくことがわかりました。国語ではしない子たちの方が明らかに成績が良く、そのまま落ちていくということがわかりました。

まったく勉強しない子たち、ほぼ勉強しない子たちは国語のテストでいうとゲームをしなければ68点ぐらい取れていたのですけれども、この子たちが4時間ぐらいゲームをすると50点以下あるいは50点台まで下がってしまうということがわかります。この勉強をしない子たちの成績が下がるというのは実に恐ろしい事実でして、要は学校で学んで頭の中にできた記憶が消えたということを意味します。ゲームを長くやることにより確実に成績が下がり、しかも何もないところからさらに引き算になっていることがわかりました。つまり、2時間以上一生懸命勉強したとしても、ゲームを3時間、4時間すると勉強しない子よりも成績が下がってしまう。家庭でやった勉強の分ですら脳の中から消えてなくなっているということです。

続いてネットやスマホの影響ですが、簡便な脳活動を測る装置を使って言葉の意味調べをするタスクを与えてみました。まず辞書を使った場合ですが左右の前頭前野はきちんと働くことがわかります。ところが同じ被験者がスマホとウィキペディアを使うとどうなったかという、全く働いていません。作業をしているのに思考の脳は働いていない。働いていないどころか抑制がかかるということがわかりました。また抑制です。

それで子供たちのデータも見ると、スマホをいじればいじるほど、勉強をしていようがいまが成績が下がっていくことがわかりました。これも同じような解釈です。かつ睡眠時間が短いと記憶が脳に定着し

難しくなるというデータは文科省にたくさんありますから、その関係も調べてみました。すると寝てない子も寝過ぎの子も標準的な子に比べると成績が低い。寝ていようと寝ていまいとスマホをやればやるほど成績が下がるということがわかります。つまりスマホを使うということは脳の中にあつた記憶を消し去っている可能性があるぞというふうに我々は気づいたわけです。特に我々が注目しているのは、昨年度、スマホの使い方によって影響の仕方が違うというデータが出始めてきました。調べた中で特に強い影響があつたのがLINEというアプリです。これは1時間未満であれば過度な影響はほとんどなくて、使ったら使った分、数学であろうと国語であろうと、寝ていようと寝ていまいと成績が下がっていく。1分でも1秒でも長く使えばその分、脳から何かが消えていくのだということが疑われました。実際にパス解析もしてみたのですが、やっぱりこのアプリを使ったことによって学力を直接下げる影響というものが一番強く出て来ていて、脳の中で悪さをしているという解釈が一番正しかろうというデータが出てきています。

このようなことでICTを活用すると脳に抑制がかかる。これは非常に心地がいい。だから人々はお金を出すわけです。それはドーパミンが出てくる快樂とつながっています。そういったメディアの技術だというふうに捉えています。ただこれが長時間被爆されると、脳への抑制の影響といったものが心理学なレベルで出てくるということもデータとして見えてきています。ということは長時間使わず便利さだけを享受するといったようなブレーキが必要ではないかというふうに私どもは思っております。例えば18歳未満の子供たちのスマホは1時間以上使えないようなソフトがきちんと走るようなことを私たちは本気で考えないといけないのではと思います。



歴代会長祝辞



山本 保 様

元 東北コンピュータ・サービス（株）代表取締役社長（初代会長歴：平成8～10年）

MISA設立20周年を迎えられましたこと誠におめでとうございます。

思い起こせば、設立当時のソフトウェア業界は、特有の構造的な問題、社会的知名度の問題、人材確保の問題等多くの課題を抱えていた時代でした。そんな中、我々業界が連携してそれらの課題解決に取り組むとともに地域社会経済の発展に寄与していくことを目的に宮城県そして関係各位のご支援・ご協力により平成8年に任意団体としてMISAが設立されたことを改めて懐かしく思い出しております。

私が初代会長を仰せつかり100数社の会員でスタートし

たわけでございますが、その後平成13年には公益社団法人、平成23年には一般社団法人へ移行し、現在200社を超える全国有数の業界団体として成長され、私の後を引き継ぎご尽力された役員及び会員そして関係機関・団体の皆様に改めて敬意を表する次第でございます。

現在、ITは国民生活や社会経済活動に欠かせない基盤技術となっており、情報サービス産業の果たす役割はますます重要になってくるものと思われまます。

今後のますますのご活躍・ご発展を祈念しお祝いの挨拶とさせていただきます。



高谷 奈津夫 様

株式会社エヌエスシー 代表取締役社長（会長歴：平成11年）

20周年という節目を迎えられましたことは、会員および事務局、関係機関の皆様方の努力と協力の結果と、感謝、感激いたします。

今想うと、設立時代は、本当に驚きの連続だと思えました。記憶をたどると

- ・ 設立準備時、初代会長や初代事務局長さん達の企画、実行する早さ。内容を理解しつつしていくのが大変でした。
- ・ 設立準備会で集まった諸先輩の熱意です。短時間の説明で賛同頂き、方針や施策が決まりました。しかも激励されたことが嬉しかったです。
- ・ 会員勧誘の支援予定者は、依頼に速やかに賛同して頂きました。その後の会員勧誘の行動力には脱帽いたしました。結果、想像をはるかに超えた参加企業数と成りました。あ

の時の感動は忘れません。

- ・ 選出された理事や事務局の皆さんの団結力と使命感です。活発な議論をし、いろんな意見も頂きました。それが土台作りに大きく寄与したと思っております。
- ・ MISAに参加された方々の熱意です。あの当時、二年毎にシリコンバレーの視察に行くほどです。各イベントにも参加者が多かったと思っています。また、2000年問題の情報交換も盛んに行われた記憶があります。（私も情報ももらいました。この紙面で感謝いたします。）・・・ということ。楽しくもありました。

これからも、会員皆様の知恵と団結で、MISAと会員の皆様が一層飛躍することを祈念いたします。



龍田 勝利 様

元 テクノ・マインド(株) 会長 (会長歴：平成14～19年)

MISA設立20周年に当たり心よりお祝い申し上げます。

MISA設立時より副会長そして平成14年から平成19年まで会長として6年間大変お世話になりました。

私事になりますが、NECの通信系の営業マンとして、昭和40～45年に東北電力さんを担当し、この時通信課におられた山本さん(初代会長)、原田さん(前事務局長)にご指導いただき、昭和61年にテクノ・マインド(株)に副社長で出向、コンピューターの仕事は初めてで、一からの勉強でした。

山本会長、原田事務局長のお誘いもあり、当時の委員会の一つでもある経営・事業責任者委員会に参加してメーカーの

純粹培養から視野を広げさせてもらい大変感謝しております。

委員会では(株)ラネックスの小林社長さんをはじめとする若手管理者と月に2～3回、喧々諤々社員の定着率、人材の確保など当面する問題を議論し大変役に立ったことを懐かしく思い出されます。

また、MISA会長就任以来事務局の皆様には言葉では言い尽くせないほどお世話になり、関係機関との交流や業界訪問等を通し多くの人と出会いがあったことも良き思い出です。

今後MISAが30年、50年と益々発展することをお祈り申し上げます。



石塚 卓美 様

元 東北インフォメーション・システムズ(株) 会長 (会長歴：平成20～24年)

MISA設立20周年おめでとうございます。

私は平成20年度から24年度まで5年間会長を務めさせていただきましたが、平成20年のリーマンショック、平成23年3月の東日本大震災、同年6月の公益法人から一般社団法人への移行等々いろいろなことがありました。リーマンショック時には、会員会社さんの仕事量が急激に落ち込み、会員会社間どうしでのワークシェアリングに取り組みました。また東日本大震災時には、多くの会員会社さんから多数のボランティア人員を出していただき、避難所でのパソコンの立ち上げや各種データの入力業務に取り組み、宮城県からも感謝の言葉をいただきました。



また公益法人から一般社団法人への移行に2年間かけて取

組み平成23年6月に移行を行いました。これによりMISAの活動範囲も大きく広がりました。

反面自己責任も重くなりましたが、また平成22年度から5年間、宮城県からの大型受注案件「IT業界人材育成事業」に取り組み、技術者の確保・育成そして協会の財政基盤強化に大きな成果を上げることが出来ました。私が嬉しかったのは、会員数が平成20年度以降一度も減らずむしろ増加したことであります。これは6つの委員会活動が、会員各社さんの参加のもと活発に行われた賜物ではないかと思えます。今後も委員会活動の活発化により、MISAが益々発展することを期待しております。

MISA20年のあゆみ

	1996	1997	1998	1999	2000	
	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	
主要事業		中期事業計画 【第1次】 (ミッドレンジ事業計画)				
	<ul style="list-style-type: none"> 設立総会開催(ホテル白萩・十二月) 第1次中期事業計画策定 ② 会員企業総覧編纂 ① アンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> 東北情報通信懇談会加入(三月) (仙台国際センター・二月) みやぎマルチメディアアフェア初参加 シリコンバレー視察(第一回・十月) 2000年問題内部研修会(七月) データベースンサエティ加入(四月) JISA加入(四月) 	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県高度情報化推進協議会設立総会(三月) HP/EMAIL運用開始(十月) ② 会員へ国レベル情報提供 ① 関連セミナー共催(九月) 2000問題対応 広報誌(会報)発行(第一号八月) 	<ul style="list-style-type: none"> 第2次中期事業計画策定(十一月) 推進協議会発足(十月) みやぎ産業支援機関連携 シリコンバレー視察(第二回・十月) ② 年末年始対応連絡室の設置 ① 危機管理セミナー開催(五月) 2000年問題対応 	<ul style="list-style-type: none"> 会費改定 企業便覧発行(三月) ③ 公益法人設立許可申請(三月) ② 設立総会(三月) ① 設立発起人会発足(二月) MISAオフィス独立(上杉ハイッ七月) 社団法人認可関連 	
出来事・流行語	<ul style="list-style-type: none"> EC/CALS イントラネット ホームページ モバイル 電子メール プロバイダー アトランタ五輪 O-157 小選挙区・比例代表並立制 メークドラマ ルーズソックス 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータウイルス ネットワーク インターネットカフェ 消費税5% 長野冬季五輪 金融危機 たまごっち ポケモン 失楽園 パパラッチ 	<ul style="list-style-type: none"> プライバシー・マーク制度 コンプライアンス・プログラム グローバル化 BtoB-EC SOHO 日本版ビッグ・バン 和歌山毒入りカレー事件 農産物ダイオキシン汚染問題 日銀ゼロ金利政策 FIFAワールドカップ仏大会 明石大橋開通 凡人・軍人・変人 	<ul style="list-style-type: none"> ギガビットネットワーク アウトソーシング iモード IT革命 ビジネスモデル ADSL Y2K(西暦2000年問題) 構造改革 NTT東西分割 介護保険 カリスマ だんご3兄弟 	<ul style="list-style-type: none"> Windows 2000 IT革命 BSデジタル放送開始 デジタルコンテンツ シドニー五輪 2000円札発売 白川英樹ノーベル化学賞受賞 カメラ付携帯電話発売 USJ開業 ドットコム 	
委員会変遷	常任	企画総務	企画総務	企画総務	企画総務	地域情報化
		福利厚生	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究
		調査研究	情報交換交流	情報交換交流	情報交換交流	人材開発
		情報交換交流	普及啓蒙	普及啓蒙	普及啓蒙	経営管理者
		普及啓蒙				交流
						広報
特別	アンケート調査			次期事業計画検討	法人化	
	企業総覧編纂			アンケート		
				他県団体調査		
歴代役員	会長	山本 保	山本 保	山本 保	高谷奈津夫	森 一夫
	副会長	京極 武	若子 敦弘	若子 敦弘	森 一夫	佐島 正人
	常務理事	高谷奈津夫	高谷奈津夫	高谷奈津夫	佐島 正人	龍田 勝利
		龍田 勝利	龍田 勝利	龍田 勝利	龍田 勝利	三浦 義朗
		三浦 義朗	三浦 義朗	三浦 義朗	三浦 義朗	

2001	2002	2003	2004	2005
平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
<p>中期事業計画 [第2次]</p> <p>(第2次ミッドレンジ事業計画)</p>		<p>中期事業計画 [第3次]</p> <p>認定職業訓練事業 平成16年度</p> <p>平成17年度</p>		
<p>・推進会議参画(十月)</p> <p>・みやぎマルチメディアコンプレックス構想 中古PCリユース支援事業運用(十月)</p> <p>(社)宮城県情報サービス産業協会誕生 社団法人認可(四月)</p>	<p>・福利厚生事業・委託保養制度導入(三月)</p> <p>・宮城コンテンツクリエイターズ協議会 設立総会(八月)</p>	<p>・第3次中期事業計画策定(三月) (宮城県二月)</p> <p>・『認定職業訓練実施団体』の認定(十月)</p> <p>・保健医療福祉分野事業調査委員会設置</p> <p>・知事と各業界との意見交換会(十月)</p>	<p>初<small>(夢メッセみやぎ)</small>の民間主導型ITフェア開催 認定職業訓練事業運用開始(四月)</p>	<p>改善計画認定(宮城県三月)</p> <p>中小企業人材確保推進事業対象</p> <p>・会員企業経営実態調査(三月)</p> <p>・福利厚生事業・PET検査覚書締結(三月)</p> <p>ITフェア開催(仙台サンブラザ九月)</p> <p>・Jia東北支部との共同開催による</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・WindowsXP ・Linux ・ブロードバンド ・米国同時70・世界貿易センタービル崩壊 ・野依良治ノーベル化学賞受賞 ・中央省庁再編 ・聖城なき構造改革 ・狂牛病 ・ハリネズミ 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳ネットワーク ・欧州通貨統一(ユーロ) ・FIFAワールドカップ日韓共催 ・小柴、田中両氏ノーベル賞受賞 ・ベオオフ解禁 ・拉致日本人五人帰国 ・ワン切り ・ベッカム様 ・タマちゃん ・ムネオハウス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユビキタス社会 ・IP電話 ・ITスキルスタンダード ・イラク戦争 ・阪神18年ぶりセリーグ優勝 ・日本郵政公社発足 ・マニフェスト ・なんでだろ～ ・SARS 	<ul style="list-style-type: none"> ・アテネ五輪 ・日本プロ野球選手会史上初10日間スト ・シアトルマリナーズ・イチローシーズン最多安打記録更新(257本) ・新潟県中越地震 ・新紙幣発行 ・愛知万博(愛・地球博) ・チョー気持ちいい ・ヨン様 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法全面施行 ・ベオオフ完全施行 ・北京1万人反日デモ ・郵政民営化法案否決、衆議院解散、自民党圧勝 ・郵政民営化法案成立 ・耐震強度偽装事件 ・小泉劇場/小泉チルドレン ・想定内 ・クールビズ ・ブログ
地域情報化	地域情報化	地域情報化	人材・技術	企画運営
調査研究	調査研究	調査研究	経営	人材・技術
人材開発	人材開発	人材開発	地域IT化促進	経営
経営・事業責任者	経営・事業責任者	経営・事業責任者	厚生・交流	地域IT化促進
交流	交流	交流	企画運営	厚生・交流
広報	広報	広報		保健福祉
企画運営	企画運営	企画運営		
		Vision	保健医療福祉	人材確保検討
		└ アンケート		
		└ 他県調査		
森 一夫	龍田 勝利	龍田 勝利	龍田 勝利	龍田 勝利
高橋 信哉	高橋 信哉	高橋 信哉	高橋 信哉	江楮 正彰
佐島 正人	佐島 正人	前田 康隆	前田 康隆	高橋 信哉
龍田 勝利		堺 進	松川 満	松川 満
			原田 孜	原田 孜

		2006	2007	2008	2009	2010		
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
		中期事業計画 [第4次]						
		認定職業訓練事業 平成18年度		平成19年度		平成20年度		
		平成21年度		平成22年度				
		中小企業人材確保推進事業(～2008)						
主要事業		・十周年記念事業 中小企業人材確保推進事業運用開始(四月) (交流の場から共創の場へ) 第4次中期事業計画策定(三月) ・ITフェア開催(仙台サンブラザ(十月)) ・Jia東北支部との共同開催による 産学協同実践的IT教育研修事業実施(十月) 記念講演会(記念パーティー(六月)) (ロゴマーク制定・会員登録発行(五月))	・ITフェア開催(仙台サンブラザ(十月)) ・Jia東北支部との共同開催による 産学協同実践的IT教育研修事業実施(九月) ・富県宮城推進会議(七月)	・産業医共同利用覚書締結 ・東北IT経営応援隊事業支援 ・産学協同実践的IT教育研修事業実施 ・富県宮城推進会議開催 ・東北ITソリューションEXPO開催	・社労士共同利用覚書締結 ・宮城仙台アニメーショングラフィック協賛 ・公益法人制度改革対応検討開始 ・東北ITソリューションEXPO開催	・会員企業動向実態調査 ・東北ITソリューションEXPO開催 ・IT関連組込み人材育成事業受託 ・IT業界次世代人材育成事業受託 (交流連携・共創による変革の場へ) ・第五次中期事業計画策定		
	出来事・流行語		・IT戦略本部「IT新改革戦略／重点計画2006」発表 ・ASOCIOサミット2006開催 ・ライブドア事件発生 ・秋篠宮家に皇室41年ぶり男児誕生(悠仁親王) ・トリノ五輪・荒川静香金メダル(イナバウアー) ・WBC(世界野球)で王ジャパン初代王者 ・品格／格差社会 ・ハンカチ王子	・中越地震 ・参議院選挙(自民党歴史的な大敗) ・サブプライムローン問題 ・安倍首相突然の辞意 ・NY原油99ドル台 ・KY=空気が読めない ・どけんかせんといかん ・年金特別便 ・オグシオ ・ハニカミ王子	・北京五輪 ・リーマンショック ・オバマ大統領誕生 ・小林、益川、下村三氏ノーベル賞受賞 ・麻生首相誕生 ・アラフォー ・ゲー ・ゲリラ豪雨 ・あなたとは違うんです	・Twitter ・Facebook ・鳩山新政権誕生 ・事業仕分け ・ゼネラルモーターズ破たん ・新型インフルエンザ ・政権交代(民主党) 裁判員制度スタート ・ツイッター	・ビックデータ ・スマートフォン ・電子書籍 ・はやぶさ帰還 ・参院選民主党大敗 ・15年ぶりの円高82円 ・東北新幹線全線開通 ・ゲゲゲの女房	
		委員会変遷	常任	企画運営	企画・広報	企画広報	企画広報	企画広報
			人材・技術	経営	経営	経営	経営	経営
			経営	人財確保	人財確保推進	人財確保推進	人財確保推進	人財確保推進
地域IT化促進	人財育成		人財育成	人財育成	人財育成	人財育成		
厚生・交流	福利厚生		福利厚生	福利厚生	福利厚生	福利厚生		
保健福祉	事業共創		事業共創	事業共創	事業共創	事業共創		
特別	人材確保検討							
次期事業計画検討(Vision委員会)	人材確保検討	公益法人制度改革						
歴代役員	会長	龍田 勝利	龍田 勝利	石塚 卓美	石塚 卓美	石塚 卓美		
	副会長	江幡 正彰	江幡 正彰	荒井 秀和	荒井 秀和	荒井 秀和		
	常務理事	大槻 文郎	大槻 文郎	大槻 文郎	大槻 文郎	大槻 文郎		
		大河内康弘	大河内康弘					
		原田 孜	原田 孜	原田 孜	穴沢 芳郎	穴沢 芳郎		

2011	2012	2013	2014	2015	2016
平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
← 中期事業計画 [第5次] →		← 中期事業計画 [第6次] →			
← 平成23年度 →	← 平成24年度 →	← 平成25年度 →	← 平成26年度 →	← 平成27年度 →	← 平成28年度 →
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページリニューアル(十月) ・東北ITソリューションEXPO開催(三月) ・IT業界次世代人財育成事業受託 ・一般社団法人へ移行(六月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業動向実態調査 ・BtoBソリューションフェア開催(十月) ・IT業界次世代人財育成事業受託 ・MISAオフィス移転(北辰ビル、十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(企業)データベース構築・PR誌発行 ・ITコネクティネット推進事業受託 ・BtoBソリューションフェア開催 ・IT業界次世代人財育成事業受託 ・(ITの進化を宮城の力に) ・第六次中期事業計画策定(十月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業動向実態調査 ・BtoBソリューションフェア開催 ・地域高度IT技術者育成事業受託 ・IT業界次世代人財育成事業受託 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業動向実態調査 ・ICTカンファレンス開催 ・ICT技術者U-Jターン促進事業受託 ・地域高度IT技術者育成事業受託 ・みやぎ移住・定住推進県民会議(決意表明) ・みやぎICT有識者懇話会発足(八月) ・仙台ニアシア開発センター開設(三月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業動向実態調査 ・地方創生シンポジウムin仙台開催(九月) ・ICT技術者U-Jターン促進事業受託 ・ICTカンファレンス開催 ・二十周年記念事業 ・第七次中期事業計画策定
<ul style="list-style-type: none"> ・SNS ・ニンテンドウDS ・野田新政権誕生 ・テレビ放送デジタル移行 ・円相場75円台に ・東日本大震災 ・福島原発事故 ・小笠原、平泉世界遺産 ・なでしこジャパン 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPC ・Windows8 ・LINE ・東京スカイツリー開業 ・ロンドンオリンピック開催 ・65才以上3千万人突破 ・安倍政権誕生 ・山中教授ノーベル賞 ・新会社日本郵便発足 ・ワイルドだろ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルメディア ・インターネット選挙 ・LINE利用者3億突破 ・ポケモンXY発売 ・2020五輪東京開催決定 ・富士山世界文化遺産 ・増税8%決定 ・楽天リーグ優勝 ・今でしょ ・おもてなし ・ジェジェエ 	<ul style="list-style-type: none"> ・HTML5 ・iPhone6 ・消費税8%適用開始 ・アベノミクス ・赤崎、天野、中村三教授ノーベル賞受賞 ・はやぶさ2打ち上げ ・集団的自衛権 ・駄目よダメダメ 	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT、AI ・標的型メール攻撃 ・第四次産業革命 ・大村、梶田氏ノーベル賞受賞 ・マイナンバー開始 ・日本年金機構個人情報流出125万件 ・北陸新幹線開業 ・安全保障関連法成立 ・爆買い ・トリプルスリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックチェーン ・ドローン ・シャープホンハイに買収 ・参院選自公過半数勝利 ・東京都知事選 ・リオオリンピック開催 ・伊勢志摩サミット ・ポケモンGO ・ゲス不倫
企画広報	企画広報	企画広報	企画広報	企画広報	企画広報
経営	経営	経営	経営	経営	経営
人財確保推進	人財確保推進	人財確保推進	人財確保推進	人財確保推進	人財確保推進
人財育成	人財育成	人財育成	人財育成	人財育成	人財育成
福利厚生	福利厚生	福利厚生	福利厚生	福利厚生	福利厚生
事業共創	事業共創	事業共創	事業共創	事業共創	事業共創
			カンファレンス実行	カンファレンス実行	カンファレンス実行
			情報発信	情報発信	情報発信
				ビジネス推進	ビジネス推進
石塚 卓美	石塚 卓美	早坂 栄二	早坂 栄二	早坂 栄二	早坂 栄二
荒井 秀和	荒井 秀和	荒井 秀和	荒井 秀和	荒井 秀和	荒井 秀和
長田 純一	長田 純一	長田 純一	稲葉 輝雄	奥瀬 伸一	奥瀬 伸一
穴沢 芳郎	穴沢 芳郎	穴沢 芳郎	穴沢 芳郎	穴沢 芳郎	穴沢 芳郎

地方創生シンポジウム in 仙台「知恵とアイデアで描くIT社会の未来」開催

(一社)情報サービス産業協会(JISA)と(一社)宮城県情報サービス産業協会(MISA)の両協会は9月6日、ハーネル仙台(宮城県仙台市)において、「知恵とアイデアで描くIT社会の未来」と銘打った地方創生シンポジウムを開催した。参加者は150名を超えた。宮城県や東北地域情報サービス産業懇談会(TISA)、東北経済産業局等が後援した。

本シンポジウムは、JISA中小経営委員会に、各県の情報サービス産業団体などからもメンバーにご参加いただき、経済社会の担い手が、地域の特徴、魅力、強みとIoTやAIを活用したビジネスに取組む契機になること、また地方創生のリーダーとなる人材を当産業から排出することを目的として企画された。

シンポジウムはMISAカンファレンス委員会の司会のもと、長坂正彦氏(JISA理事、中小経営委員会委員長)と早坂栄二氏(MISA会長)の主催者挨拶で始まった。

基調講演はグーグル(株)執行役員 杉原佳堯氏による「グーグルとみんなで作りかえる世界」。Xプロジェクトなどグーグルの問題意識と構想、ディープラーニングによる画像認識の可能性など聴衆に大きなインパクトを与える内容だった。

グーグル社は世の中の重大な課題に対して、ラディカルな解決策を提案するために、問題の壁を突破する技術を追求しているという。たとえば、アフリカのような地に莫大な費用をかけた光ファイバーを施設するのではなく、気球を飛ばしてインターネットに接続することや、グーグル社が開発する無人の自動車は自動車産業に乗り出すものではなく、自動車を運転出来ない僻地に一人で暮らす老人にとっても移動手段として自動運転の車は役立つのではないかといったことなどを例にグーグルの問題意識と構想を説明された。

招待講演は経済産業省情報処理振興課課長補佐の上松真也氏による「IoT推進ラボについて」、地方におけるプロジェクトの紹介や具体的な取組事例を多数紹介され、自治体を巻き込み、人材発掘にも資する政策の活用をアピールされた。

魅力的な事業紹介として(有)伊豆沼農産の代表取締役 伊藤秀雄氏による講演「あなたの食料、大丈夫!? 農民からの提言」が行われた。

米の栽培から、ブルーベリーの栽培、赤豚の育成・加工・販売(世界展開)などいわゆる農業の6次産業化のみならず、子供たちに食育・環境教育が体験できる事業、古老を活用した事業など地域特性・資源を活用した事業内容が紹介された。

最後に(株)インプレス編集主幹の田口潤氏を司会に既に講演された杉原氏、伊藤氏に加え、阿部嘉男氏((株)SRA東北)、芹川哲朗氏((株)ノイス)による「独創性が未来を切り拓く」と題するパネルディスカッションが行われた。

ハードウェアや通信環境が大きく変化するなかで、独創性を生み出すAIやビックデータなどの新しい技術への取組、また技術者への自由裁量時間などの働き方が話題に上った。



kintone(キントーン) クラウド時代を生き残る武器となるか

人財育成
委員会

平成28年6月15日(水) Navisにて人材育成委員会主催の恒例事業である技術研修が行われました。

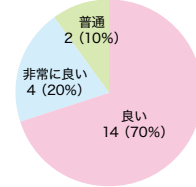
例年旬のテーマを取り上げ、他の研修ではなかなか取り上げない独自の視点で研修内容を選定しています。

今回は昨今のクラウドサービス全盛時代の流れを受けて、サイボウズ社のkintoneを取り上げました。kintoneは東北地方での知名度こそ今ひとつですが、ノンプログラミングでwebデータベースが作れ、そのままクラウドサーバー上で運用ができるという従来のオンプレミス型のwebシステムとは一線を画した今後のICT業界のビジネスの一つの方向性を示したものと考えられます。

講師はサイボウズ株式会社仙台営業所所長の武田卓也氏と地元仙台にて4年前からkintoneの可能性に着目し、営業展開していたスマイルアップ合資会社代表の熊谷 美威氏にお願いしました。

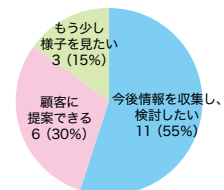
参加者は14社20名で開発技術者のみならず、営業・管理層も出席されて、関心の高さを示すものとなりました。アンケートの結果も上々で次回開催を望む声もありました。

(研修内容について)



- kintoneの概要は把握できました
- kintoneに対してとても興味を持ちました。既存顧客とかだと利用場面が限られてしまいうるなという印象もありました。
- kintoneについて使い方を知ることができた。
- kintoneのカスタマイズや他システムとの連携に興味深かった。自分でも試してみたいと感じた。
- もっと、技術よりの研修にも参加したくなりました。
- じっくり聞く事が出来ました。

(kintone を今後の業務の中で活かせると思いますか。)



- 出来る事とできない事、どういった業種業界、規模に対してベストなのかをもう少し見極めたい
- 今までと異なるサービスを提供できることが分かった。

私たちTOiNX (トインクス) は、
ITで実現する新たな価値を
地域社会に拡げ続けます。

ともに手を取りあい、
どんな時も誰よりも近くで、
しっかり支え、キッチリ守ります。

さらに、一歩踏み込んだ提案をし、
期待をこえる感動を届けます。

トインクス
TOiNX
ITで、感動を、ともに。

東北インフォメーション・システムズ株式会社
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10 セントレ東北
TEL 022-799-5555 (代) FAX 022-799-5561
<http://www.toinx.co.jp/>

委員会報告

経営
委員会

MISA設立20周年記念 第30回MISA親睦ゴルフ大会

■開催日：平成28年4月16日（土）

■場 所：「仙台クラシックゴルフ倶楽部」

春と秋の年に2回行われるMISA親睦ゴルフ大会も今回30回を迎えました。MISAも設立20年と言う事もあり、この記念すべき大会をLPGA宮城テレビ杯ダンロップ女子オープンの競技会場でもあった宮城の名門、「仙台クラシックゴルフ倶楽部」で開催しました。屈指の難コースに16組62名が参加し、新たな優勝カップ獲得をめざし、日頃の腕前を競い合い和気あいあいと会員の親睦を深めるゴルフ大会となりました。

【成績】（敬称略）

	NET	HC	
優勝：矢口 亨	(71.4)	(21.6)	東北インフォメーション・システムズ(株)
準優勝：神戸 利明	(71.8)	(13.2)	(株)東北電子計算センター
第3位：小野寺伸晃	(72.4)	(9.6)	(株)ブレイド
第4位：穴沢 芳郎	(73.0)	(6.0)	宮城県情報サービス産業協会（ベストグロス）
第5位：佐々木 勇	(73.0)	(18.0)	(株)カーム



結ぶ
見守る
創りだす

システムの開発から、設計・製造・工事・保守まで
お客様にご満足いただけるICTソリューションを提供致します。

2uken
東北電力企業グループ

通研電気工業株式会社

〒981-3206仙台市泉区明通3-9(泉パークタウン工業流通団地内)

Tel.022-377-2800(代) Fax.022-377-9217

<http://www.2ken.co.jp>

支社/青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島・新潟

委員会報告

福利厚生
委員会

MISA設立20周年記念 第9回MISA会長杯フットサル夏大会

第10回MISA設立20周年記念会長杯フットサル夏大会が7月2日(土曜日)、リベラ鶴巻さんで開催されました。

今大会もオープンクラスとビギナークラスで、20チーム約240名の参加となりました。

今大会は、参加申し込み開始と同時に沢山の企業様からの申し込みがあり、わずか5日間で満員御礼のご案内を出さなければならないほどの盛況ぶりでした。

さて、試合の方はオープンクラスでは、「打倒アートシステムさん」を合言葉に、各試合とも熱い戦いが繰り広げられました。

オープンクラストーナメント2回戦では、4連覇を狙うアートシステムさんをコンピュータ・マネジメントさんが2点をリードする展開でしたが、そこから底力を発揮しアートシステムさんが逆転勝ち。

決勝でも、SRA東北さんに先制を許すも同点に追いつき最後はPK戦にもつれ込みながらも、みごと4連覇達成。

また、ビギナークラスの決勝もISB東北さんとステップさんが熱戦を繰り広げ、PK戦の末、ISB東北さんが優勝!

第11回大会は秋(10/29(土曜日))に同じリベラ鶴巻さんで開催を予定しています。皆様方の積極的なご参加方よろしくお願いたします。



オープンクラス結果

優勝：(株)アート・システム

準優勝：(株)SRA東北

3位：東北インフォメーション・システムズ(株)
コンピュータ・マネジメント(株)

コンソレーション優勝：通研電気工業(株)



株式会社アート・システム

ビギナークラス結果

優勝：(株)アイエスピー東北

準優勝：(株)ステップ

3位：東北NSソリューションズ(株)
(株)東北システムズ・サポート

コンソレーション優勝：NECソリューションイノベータ(株)東北支社



株式会社アイエスピー東北さん

MISA設立20周年記念 カレイ釣り大会in大型魚礁

福利厚生
委員会

7月9日(土)にMISA20周年記念カレイ釣り大会を開催いたしました。当日の天気は乗船時から小雨模様・・・釣行中も降ったり止んだりの微妙な天気でした。参加者20名は、毎回お世話になっている塩釜の「えびす屋さん」の強面船頭(我妻)さんと共に漁場へ。

前半戦は喰いが渋い・・・渋すぎる!!しかし釣れるとそれなりに良い型♪なこともあり、途中リタイアされる方もなく、皆さん後半戦の入れ食いパーティータイムもあったせいか、それなりに楽しんでいただけたようでした。

そして!今回の優勝者は、初参戦の株式会社ラネックスの小林様でございました。おめでとうございます!



【成績】(敬称略)

優勝：42cm 小林 貴之様(株式会社ラネックス)

準優勝：39cm 横浜 久様(NECソリューションイノベータ株式会社)

準優勝：38.5cm 菊地 直毅様(サイバーコム株式会社)

えびす屋賞：38cm 奥山 栄様(サイバーコム株式会社)

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
設立20周年記念 永年会員表彰企業
 ※平成8年12月設立からの継続会員 (敬称略・50音順)



【正会員】 43社

1. (株)アート・システム
2. (株)アテネコンピュータシステム
3. イートス(株)
4. (株)SRA東北
5. (株)SJC
6. (株)エステック
7. (株)エスリゾーム
8. (株)NID東北
9. (株)協和エクシオ 東北支店
10. (株)クロスキャット 仙台支店
11. コムシス情報システム(株) 仙台支店
12. (株)サイエンティア
13. (株)シー・エス・イー 仙台支社
14. (株)システムネットワーク
15. (株)システムロード
16. 七十七コンピュータサービス(株)
17. (株)ステップ
18. (株)仙台ソフトウェアセンター
19. (株)仙台三川
20. (株)セントラル情報センター 東北支店
21. 通研電気工業(株)
22. テクノウイング(株)
23. テクノ・マインド(株)
24. (株)データウエイ・システムズ
25. 東京コンピュータサービス(株)仙台支店
26. 東北インフォメーション・システムズ(株)
27. 東北NSソリューションズ(株)
28. 東北オータス(株)
29. (株)東北システムズ・サポート
30. 東北ディーシーエス(株)

31. (株)東北電子計算センター
32. (株)トレック
33. 日本総合システム(株) 仙台支社
34. (株)ネスコ 仙台支店
35. ハリウコミュニケーションズ(株)
36. (株)BSNアイネット 東北営業所
37. 東日本情報機器(株)
38. (株)日立ソリューションズ東日本
39. (株)ビッツ 東北事業所
40. (株)フジビジネスセンター
41. (株)プロテウス
42. (有)マインドアクセス
43. (株)ラネックス

【賛助会員】 12社

1. 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
2. 兼松エレクトロニクス(株) 仙台営業所
3. カメイ(株) 法人営業部
4. 東北電力(株)
5. 日商エレクトロニクス(株)
6. 日本アイ・ビー・エム(株)
7. 日本電気(株) 東北支社
8. 日本ユニシス(株) 東北支店
9. 東日本電信電話(株)
10. (株)日立製作所 東北支社
11. 富士通(株) 東北支社
12. (株)ユアテック

熊本震災支援募金活動ご協力への御礼

2016年4月14日午後9時26分頃、九州地方を震源とするマグニチュード6.4の地震が発生しました。被災が甚大で被災地の復旧・復興には期間を要し、今なお不便な生活を強いられている被災者が多数いらっしゃいます。このような状況を鑑み、先般の総会ならびに20周年記念パーティー、フットサル大会会場において募金活動を行いました。

多くの皆様からのご協力ありがとうございました。ご協力いただきました義援金(82,616円にMISA支援金を併せた100,000円)は熊本県情報サービス産業協会様を通し被災地にお届けさせていただきます。



入会企業募集中

★★設立20周年を期により充実した団体へ★★

MISA活動へのお誘い

お知り合いの企業をご紹介ください

宮城県情報サービス産業協会（MISA）では、情報サービス産業における技術研究や法務・制度対応サポート、人材育成研修のご提供から、産学官やその他関係機関との協力連携まで皆様の事業・経営のお役に立つサービスを提供しています。

- ◆事業や経営に対する丁寧な支援が受けられる
- ◆同業者との横の繋がりができる
- ◆自社だけではできないことが達成できる

等々

入会に関するお問合せ
資料請求先はこちら

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 事務局
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-6-10 仙台北辰ビル5F
TEL:022-217-3023 FAX:022-217-3055
E-mail: misa@misa.or.jp <http://www.misa.or.jp>

ホテルメトロポリタン仙台

ここにしかない特別を全てのお客様へ。

〒980-8477
仙台市青葉区中央1-1-1
TEL. 022-268-2525

MISA設立20周年おめでとうございます。

跳力。

ひとりひとりの夢と力を共有し、ひとりひとりが響きあう、新しいコミュニケーションの創造。新しい「ハリウコミュニケーションズ」。

Digital Communication

Publication

Printing

HARIU Communications CO.LTD
ハリウ コミュニケーションズ株式会社

本社・工場 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目黒町2番12号
TEL 022-288-6011 (代) FAX 022-288-7600 (代)
URL <http://www.zundonet.co.jp>
●営業所：東京

MISA 会員名簿 【正会員：160社】 (五十音順、敬称略)

平成28年9月30日現在

- (株) アート・システム
 アイエイ・コーポレーション(株)
 (株) I S Tソフトウェア
 (株) アイエスピー東北
 (株) アイシーエス 仙台支店
 (株) アイソリューションズ
 (株) アイティフラッグス
 (株) 秋田情報センター
 (株) アクシス 仙台支店
 (株) アジェンダS T
 (有) アスクシステムズ
 (株) アズワン
 (有) アセットソフト
 (株) アテネコンピュータシステム
 (株) アペールジャパン 東北支店
 アルプスシステムインテグレーション(株)
 (株) イグナルシステムズ
 (株) イッツ・コーポレーション
 (株) イーエムエス
 (株) EMD 東北支社
 イートス(株)
 (株) イメージア・ソリューション
 (株) インストーク
 インテリジェントサイエンス(株)
 (株) ウェブレッジ
 (株) 内田洋行ITソリューションズ
 (株) エキサイト
 (株) S I G (※旧エスアイインフォジェニック)
 (株) SRA東北
 (株) エスエスイー 仙台事務所
 (株) エスクルー
 (株) S J C
 (株) エステック
 (株) エスリゾーム
 (株) N I D東北
 N E Cソリューションイノベータ(株) 東北支社
 (株) エヌエスシー
 (株) エヌ・シーエス
 (株) N T Tデータ東北
 (株) エムジョイ
 (株) エフコム
 (株) F Y F 東北支店
 (株) オービックビジネスコンサルタント 仙台営業所
 キーウェアソリューションズ(株) 東北支店
 (有)キムラオフィス・コーポレーション
 キャロルシステム仙台(株)
 (株) 協和エクシオ東北支店
 (株) クエスト 東北支社
 (株) クロスキャット仙台支店
 K S R(株)
 (株) K S F
 (株) ケーヒンエレクトロニクステクノロジー
 (株) コーディアルコンサルティング&ソリューションズ
 コムシス情報システム(株) 仙台支店
 コンピュータシステム開発(株)
 (株) コンピュータシステム研究所
 コンピューターマネージメント(株)
 (株) サイエンティア
 サイバーコム(株) ソリューション事業部
 (株) サイバー・ソリューションズ
 (株) 佐々通オンサイト
 (株) Sunny day
 (有) サバンナコーポレーション
 (株) シー・エス・イー仙台支社
 シーツー(株)
 (株) システムレーテ 仙台開発センター
 システムニ科尔(株) 仙台支所
 (株) システムネットワーク
 (株) システムロード
 七十七コンピュータサービス(株)
 (株) J C - 21教育センター
 (株) ジャステック 仙台営業所
 (株) ステップ
 スマートメディカル(株) 仙台支店
 (株) 仙台システムサポート
 (株) 仙台ソフトウェアセンター
 (株) 仙台三川
 (株) セントラル情報センター東北支店
 (株) ソフトエイジ
 (株) ソフトキャンパス
 大和電設工業(株)
 (株) チップス
 通研電気工業(株)
 T I S東北(株)
 (株) ティー・エス・シー
 テクノウイング(株)
 (株) テクノサポートカンパニー
 (株) テクノプロ テクノプロ・IT社 仙台支店
 テクノ・マインド(株)
 (株) テスプロ
 (株) データウエイ・システムズ
 (株) デジス
 デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)
 (株) デジタルハーツ 仙台技術センター
 (株) 寺岡システム
 (株) テンダ
 東杜シーテック(株)
 東京コンピュータサービス(株)仙台支店
 東北インフォメーション・システムズ(株)
 東北NSソリューションズ(株)
 東北オータス(株)
 (株) 東北システムズ・サポート
 (株) 東北システムテクノロジー
 東北ディーシーエス(株)
 (株) 東北電子計算センター
 トライアロー(株) 東北支店

トライポッドワークス(株)	(株) フジビジネスセンター
トリオシステムプランズ(株)	(株) フライトシステムコンサルティング 仙台事業所
(株) トレック	(株) フリースタイル
(株) ニューソル	(株) フリーハンド
日本総合システム(株) 仙台支社	(株) ブレイド 仙台支社
(株) ネクスソリューション	(株) PRO&BSC
(株) ネスコ仙台支店	(株) プロテウス
(株) ネットワーク21 仙台事業所	(株) プロトリオス
ネットワンシステムズ(株) 東北支店	(株) マイクロメイツ 仙台事業所
ハイクリエイティブ(株)	(有) マインドアクセス
バイスリープロジェクト(株)	(株) マルナカ
ハイテックシステム(株) 仙台支店	(株) Minoriソリューションズ
(株) ハイパーソリューション	(株) 宮城県農協情報センター
(株) パスコ東北事業部	(株) メディア・サポート
ハリウコミュニケーションズ(株)	メディアテック(株)
(株) ピー・エス・アール	(株) メノックス
(株) BSNアイネット東北営業所	(株) メンバーズ
(株) ピーフル	(株) ゆいネット
東日本情報機器(株)	ユニバーサル・インフォメーション・サービス(株)東北事業所
ピセ(株) 仙台支社	ライズ・システム(株)
(株) 日立ソリューションズ東日本	(有) ラスタファクトリ
(株) ビッツ 東北事業所	(株) ラネックス
(株) ヒューマン・ネットワーク	(株) 理経 東北営業所
FutureOne(株)	(株) 栗菱コンピューターズ
フィット産業(株) 仙台営業所	(株) ワールドインテック テクノ事業部仙台営業所
富士通エフ・アイ・ピー(株) 東北支社	(株) YSLソリューション 東北事業所
(株) 富士通システムズ・イースト	(株) ワイヤードビーンズ

MISA 会員名簿 【賛助会員：47社】 (五十音順、敬称略)

平成28年9月30日現在

(株)アイエスエフネット 仙台支店	東北プロフェッショナル・アクションズ・ネットワーク
(株)アイ・ティ・シー・キューブ	トッパン・フォームズ(株)
(株)アイテック	日商エレクトロニクス(株) ビジネスイノベーション本部ECM事業部
アルファテクノロジー(株)	日本アイ・ビー・エム(株)
アルファビジョン	日本オラクル(株)
伊藤忠テクノソリューションズ(株)	日本電気(株) 東北支社
(株)インテリジェンス 東北支社	日本ユニシス(株) 東北支店
(株)エスマネジメントオフィス	(株)パソナテック 仙台支店
兼松エレクトロニクス(株) 仙台営業所	パールナレッジ(有)
カメイ(株) 法人営業部	(株)PE-BANK 東北支店
キャノンマーケティングジャパン(株)仙台支店	(株)東日本技術研究所
KCCSキャリアテック(株)	東日本電信電話(株)
コミイ(株)	(株)日立製作所東北支社
(株)シーエスシー	b.m.o.d.e合同会社
(株)シー・ソフト	(株)フィナンシャル・ヒルズ
CData Software Japan合同会社	富士通(株) 東北支社
(株)スプラウトジャパン	マンパワーグループ(株)ソリューション・サービス仙台支店
清野経営事務所	NPO法人みちのく情報セキュリティ推進機構
(株)ソフトウェア・ビーンズ	宮城県職業能力開発協会
ソフトブレンビジネスパートナー	(一社)みやぎ工業会
(株)T&Iシステムズ	(株)モノクラフト
(株)テレコムリサーチ	(株)ユアテック
(株)TOUA 北日本支社仙台オフィス	(株)ユニバーサルコンピューターシステム
東北電力(株)	

新入会員紹介 (平成28年6月1日以降の入会)

正会員-入会 賛助会員-入会

会員数 (正会員・・・160社 賛助会員・・・47社)

入会日	会員名 (代表者名)	住 所 TEL・FAX
7月1日	(株)アクシス (代表取締役 小倉 博文)	〒980-6022 仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル22F TEL 022-281-9302 FAX 022-281-9303
7月13日	(株)KSF (代表取締役 鎌倉 英明)	〒980-0811 仙台市若林区新寺1-6-8 チサンマンション仙台203 TEL 022-290-9290 FAX 022-290-9290
6月1日	コミイ(株) (代表取締役社長 柿沼 清孝)	〒984-0051 仙台市青葉区国分町3-1-18 TEL 022-264-6135 FAX 022-264-6024
6月1日	(株)シーエスシー (代表取締役 新倉 正道)	〒410-1198 静岡県裾野市御宿1501 TEL 055-996-3530 FAX 055-996-3583
6月1日	(株)フィナンシャル・ヒルズ (代表取締役 田中 覚)	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-9-8.3 日宝仙台ビル5F TEL 022-302-6741 FAX 022-302-6742
9月14日	アルファテクノロジー(株) (代表取締役社長 片桐 一樹)	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-11-19 仙南ビル3F TEL 022-217-1017 FAX 022-215-0820
9月26日	トッパン・フォームズ(株) (東北営業本部長 和久井 博)	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-7-22 仙台東書ビル6F TEL 022-256-8718 FAX 022-256-8751

(敬称略)

MISA フォトコンテスト結果報告

MISA 会報 40 号フォトコンテストに、会員企業の皆様方から総数 43 点のご応募をいただきました。MISA 事務局と情報発信部会の投票による選考結果でグランプリと準グランプリが決定いたしました。グランプリ作品 1 点には商品券、準グランプリ作品 1 点と佳作 10 点には QUO カードがそれぞれ贈呈されます。



グランプリ 「伊豆沼はすまつり 2016」
システムニ科尔 (株) 田代様

準グランプリ 「龍神の池」
(株) SRA 東北 稲田様

